

平成28年度 第1回那珂市行政評価外部評価委員会 要旨

日時 平成28年6月24日（金）午後2時～午後4時

場所 那珂市役所本庁舎202会議室

出席者：伊藤伸 委員長、伊藤陽 委員
小川みゆき 構想日本政策スタッフ

欠席者：新倉聡 副委員長

事務局：海野徹市長

大森行財政改革推進室室長、平野室長補佐（総括）、金田室長補佐

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長挨拶要旨

本日はお忙しいところ、第1回那珂市外部評価委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。また、皆さまには、この委員をお引き受けいただくにあたり、快くご了解いただき、深く感謝申し上げます。

本年度の外部評価については、市の事業及び業務とその状況について、客観的に分析し課題点を共有することにより、事務の整理による効率化、職員の意識改革、効率的な財政運営を行うことができるよう、論点整理に特化した外部評価（業務点検方式）を実施したいと考えております。また、全庁的に点検をする観点から、評価対象を市民にとって関心はあるが、専門性が高くわかりにくいと感じるものを中心に、個別事業に留まらず業務全体も含めて選定することとしました。

外部評価委員会の皆さんからの、外からの視点による評価、ご意見等をいただき、点検の過程や結果を市民に公開することにより、市民との協働のまちづくりの推進につながるものと考えております。よろしくお願い申し上げます。

- ・委員自己紹介
- ・事務局自己紹介

4 協議事項

(1) 委員長選出

互選により、委員長に伊藤伸委員を選出した。

副委員長には、委員長指名により新倉委員を選出した。

(2) 平成28年度那珂市行政評価外部評価について

平成28年度那珂市行政評価外部評価について、以下のとおり事務局から説明した。

- ・平成24年度から平成27年度までは、市民判定人方式を活用した事業仕分け及び市民参加型の外部評価により市民とともに効果的で効率的な行財政改革を推進してきた。
- ・本年度は、市が実施する事業及び業務とその状況を、客観的に分析し課題点を共有することで、事務の整理による効率化、職員の意識改革、効率的な財政運営を行うことができるよう、論点整理に特化した外部評価（業務点検方式）を実施する。
- ・客観性及び透明性を確保するため、外部の視点で、公開の場において評価を行う。
- ・対象の業務担当課から資料と説明をもらい、担当者と外部評価委員との質疑応答による方式とする。
- ・最終回である4回目は市民向けの公開で、基調講演と成果検証のパネルディスカッションとする。ここで外部評価の取り組みを振り返り、成果や経緯等を検証する。
- ・対象事業及び業務は、全庁的にチェックを入れる観点から、これまでの事業仕分け・外部評価委員会において評価対象とならなかったもので市民にとって関心はあるが専門性が高くわかりにくいと感じるものを中心に、個別事業に留まらず業務全体も含めて選定し、決定する。

(3) 外部評価対象事業の選定について

対象事業の選定について、以下のとおり事務局から説明した。

- ・これまで外部評価が入っていない、財政課・税務課・市民課・保険課・水道課・会計課・議会事務局・農業委員会事務局から、市民との関わり度合い等の観点から、財政課・税務課・市民課・保険課を候補とし、対象は予算書の事務事業名にこだわらずに業務範囲を指定する。
- ・業務の手順を“見える化”し、多数の視点で検討ができる形にして、課題や改善点の有無を含め検証する。市民レベルに整理して市民に向けて説明することで、職員の意識変化、点検ノウハウの共有活用、業務の効率化などを期待する。
- ・具体案として次の4事業を選定した。
 - 財政課の予算編成業務（予算編成方針決定、予算要求、各課ヒアリング、議会上程まで）
 - 税務課の固定資産税賦課業務（固定資産の評価、税額決定、賦課まで）
 - 市民課の戸籍住民基本台帳管理業務（戸籍及び住基情報の管理及び諸証明発行

まで)

- 保険課の国民健康保険業務（国保税の賦課、徴収、保険証の発行や発行取り消し、短期保険証発行等まで）

委員意見

- ・今回は事業でなく業務に視点をあてるということか。
- ・対象となった部署には、業務のとらえ方や今回の主目的は経費削減でないことを丁寧に説明してほしい（外部評価は事業仕分けのイメージが長かったのでもちろん、市民に対しても、自治体の基礎的な仕事で管理的な業務であることを説明してほしい。
- ・今回の成果指標は、初めての取り組みなのでやってみないと分からないが、一つは担当職員の意識と具体の取り組みがどう変わったか、二つ目は改善した取り組みの数あたりになると考えられる。
- ・課題が顕在化できて、中長期的に人工を減らせたとかになれば成果は大きい。
- ・予算の業務単位でまとめた事務事業と、今回選定する業務とは単純には結び付かない。
- ・市民との質疑応答を想定していないが、業務のフローを議論することを明確にしてから質疑を展開する。しかし、市民の関心がある方に論点がどんどん出てきてしまう懸念がある。関心がある基礎的な部分は、例えば国保料金等、一部触れざるを得ないかもしれない。
- ・業務システムについて、庁内及び他市町村との共同利用は質問したい。
- ・業務単位の場合は、フローは別として、人工と経費の記述は難しい。
- ・既存資料の寄せ集めではなく、作成したこのシート案を基本として議論する。それに補足資料がつく方が、議論の対象が分かりやすく、シートの記載内容を中心に第2回目は議論を深めていく。
- ・提出してもらおうシートの様式は、業務が対象なら事業単位よりわかりにくいので、再度考えたい。
- ・3回目の成果結果を評価するシートが必要だと思われる。
- ・第4回案として、3回と完全に分けて、市民対象のほか他自治体職員をも対象にしてはどうか。大きめのテーマで講演と議論ができてもいい。

5 その他

- ・第2回委員会は7月29日（金）本庁5階で開催する。

以上

